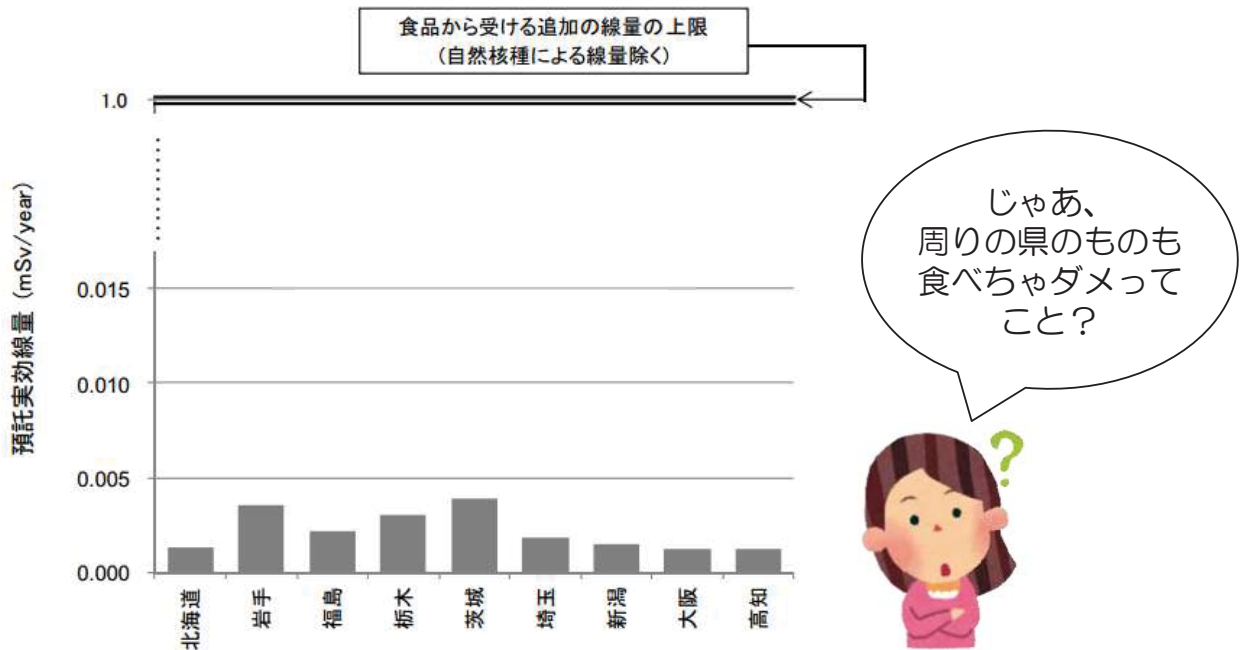


# 厚労省による調査結果

<図2 陰膳試料から推定した地域別放射性セシウムの年当たり預託実効線量の平均値>



平成25年3月11日  
 厚生労働省医薬食品局食品安全部発表資料  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002wyf2.html>

## 参考資料

# 厚労省による調査結果

<表2 陰膳試料から推定した放射性セシウム及び放射性カリウムの年当たり預託実効線量>

地域	放射性セシウム (mSv/year)		放射性カリウム (mSv/year)
	平均値	90 パーセントイル値	平均値
北海道	0.0013	0.0018	0.208
岩手	0.0035	0.0075	0.201
福島	0.0022	0.0035	0.187
栃木	0.0030	0.0078	0.204
茨城	0.0039	0.0091	0.214
埼玉	0.0018	0.0043	0.174
新潟	0.0015	0.0022	0.170
大阪	0.0012	0.0016	0.166
高知	0.0012	0.0016	0.196

セシウムの被ばく量の平均は0.0039~0.0012

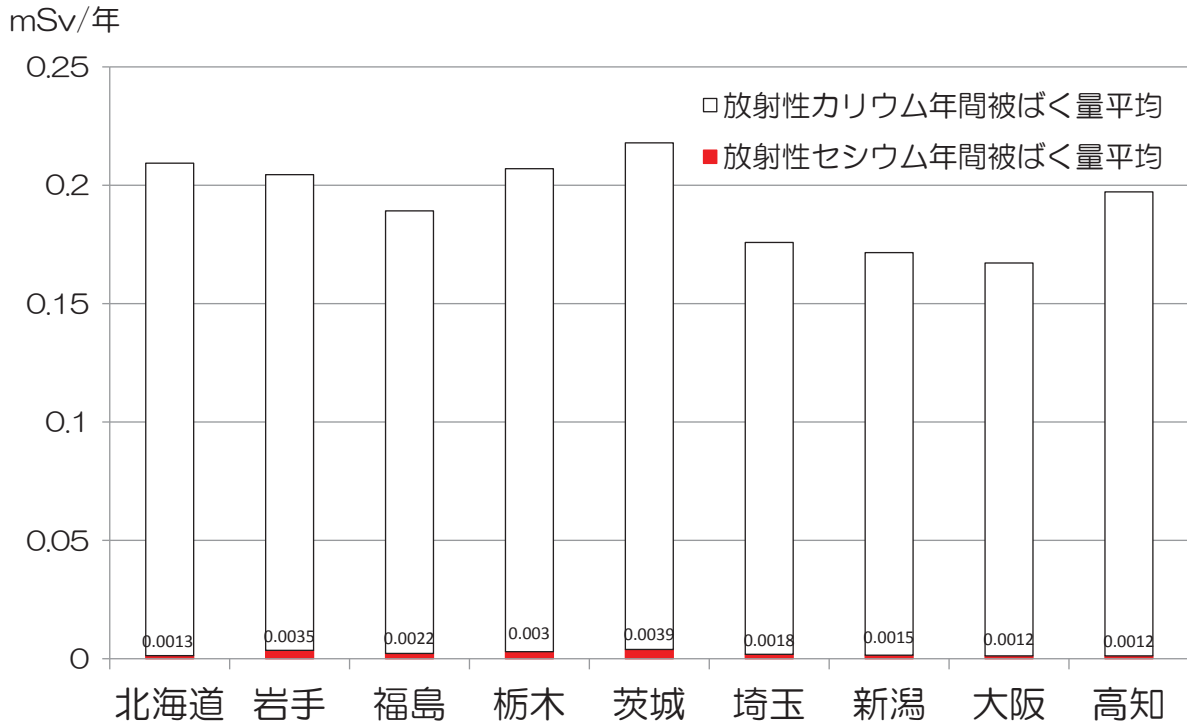
90%の人はセシウムの被ばく量が0.0016~0.0091以下

カリウムの被ばく量の平均は0.214~0.166

※Bq から Sv への換算には、年代別に ICRP Publication72 の預託実効線量係数 (Sv/Bq) を用いた。

平成25年3月11日  
 厚生労働省医薬食品局食品安全部発表資料  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002wyf2.html>

# 厚生労働省による調査結果



平成25年3月11日  
 厚生労働省医薬食品局食品安全部発表資料  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002wyf2.html>から作成

73

## 参考資料

# 食品中の放射性ストロンチウム 及びプルトニウムの測定結果

表1 調査A(平成24年9・10月採取試料)における放射性ストロンチウム、プルトニウムの濃度  
(210試料中17試料の濃度を測定)

地域	食品群	濃度 (Bq/kg)			参考 (Cs-134+Cs-137)
		Sr-90	Pu		
			238	239+240	
福島県(浜通り)	11	ND(0.02)			0.57
福島県(中通り)	2	ND(0.02)			0.90
福島県(中通り)	6	ND(0.03)			1.3
福島県(中通り)	10	ND(0.02)			0.83
福島県(会津)	10	ND(0.02)			0.60
岩手県	12	ND(0.02)			1.2
宮城県	1	0.024			0.53
宮城県	3	0.018			0.86
宮城県	6	0.045	ND (0.0003 ~ 0.0008)	ND (0.0003 ~ 0.0007)	0.51
茨城県	7	ND(0.02)			1.4
茨城県	10	ND(0.02)			0.87
栃木県	12	ND(0.02)			0.59
埼玉県	7	0.051			0.55
埼玉県	12	0.053			0.57
神奈川県	10	0.12			1.7
新潟県	10	0.046			0.67
大阪府	10	0.042			0.55

ND: 検出限界値未満

( )内は検出限界値を示しており、試料量、測定時間、バックグラウンド値等により変動する。

厚生労働省発表資料(平成26年5月23日) <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000046549.html>

74

# 食品中の放射性ストロンチウム 及びプルトニウムの測定結果

表2 調査B(平成25年2・3月採取試料)における放射性ストロンチウム、プルトニウムの濃度  
(210試料中12試料の濃度を測定)

地域	食品群	濃度 (Bq/kg)			
		Sr-90	Pu		参考
			238	239+240	(Cs-134+Cs-137)
福島県(浜通り)	6	0.033			9.3
福島県(中通り)	2	0.040			0.51
福島県(中通り)	6	0.033			5.2
福島県(会津)	6	0.036			4.5
岩手県	5	0.067	ND	ND	1.4
岩手県	12	ND(0.02)	(0.0003	(0.0003	0.91
宮城県	13	0.087	~	~	0.69
茨城県	8	0.027	0.003)	0.003)	0.58
茨城県	11	ND(0.02)			0.59
栃木県	10	ND(0.02)			0.75
東京都	7	0.039			0.50
新潟県	10	ND(0.02)			1.9

ND: 検出限界値未満

( )内は検出限界値を示しており、試料量、測定時間、バックグラウンド値等により変動する。

厚生労働省発表資料(平成26年5月23日)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000046549.html>

# 食品中の放射性ストロンチウム 及びプルトニウムの測定結果

- 一部の試料から、Sr-90 が検出されたが、いずれも 事故以前の範囲内。
- プルトニウムは検出されず。
- この結果は、平成24年2月から5月に実施した調査の結果と同様

## 食品の汚染状況

- セシウムによる被ばく量は極めて少ない
- セシウムが入っていた家庭の食事でも、カリウム40の被ばく量を合計すると、**全体的には被ばく量が増えるわけではない**
- 汚染しやすい食品は限定：**山菜、野生のきのこ、野生動物、海水魚（底魚）、天然の川魚**
- ストロンチウム90は全国的に検出されるが、事故前と変わらない
- プルトニウムは検出されていない
- 外部被ばくより内部被ばくが大きくなることは、まず考えられない

77

では実際の体内のセシウムは



78